

1. 研究機関名、研究者の氏名等

研究題目:大学生のコミュニケーション能力と過去の生活環境、現在のデジタル機器の使用時間との関連

研究責任者氏名・職名: 榊原久孝 教授

個人情報管理者: 渡辺有里

2. 研究課題の概要

【背景・目的】 現在の大学生は、コミュニケーション能力が低下している。しかし、コミュニケーション能力は社会人には非常に大切である。また、看護師にとってコミュニケーション能力は患者に看護を提供する上で非常に重要である。

本研究では、大学生のコミュニケーション能力の程度を把握するとともに、コミュニケーション能力と過去の生活状況、現在のデジタル機器の使用時間との関連を調査し、コミュニケーション能力が低い人の過去の生活状況の特徴、デジタル機器の使用時間の長さを把握する。そして、コミュニケーション能力の高い大学生になるために望ましい生活をするためにどのような取り組みが必要であるかの示唆を得ることを目的とする。

【研究方法】 無記名・自記式アンケートにより横断研究を実施する。

【対象者】 名古屋大学医学部保健学科看護学生 2、3 年

【研究期間】 倫理審査会で承認が得られた日～平成 30 年 3 月 31 日

【実施方法】 アンケートの内容は、コミュニケーション能力と過去の生活状況、現在のデジタル機器の使用時間を質問する。アンケートは名古屋大学医学部保健学科大幸キャンパス内で実施する。アンケート回収後、コミュニケーション能力と過去の生活状況の関連、およびコミュニケーション能力と現在のデジタル機器使用時間との関連について解析する。特に大学生のコミュニケーション能力は過去の生活状況と現在のデジタル機器使用時間と関連しているのではないかと予測し明らかにする。

3. インフォームド・コンセント

説明書には研究目的、研究方法、起こりうる不利益、倫理的配慮、研究参加は対象者の方の任意であり研究に参加しなくてもそのために不利益が生じることはない旨を記載し、説明書を用いてこれらを口頭で説明する。アンケートは無記名・自記式とし、アンケートの回収をもって、本研究の参加に同意していただいたものとみなす。調査対象者には大学生ではあるが未成年者も含まれるため、研究概要について HP に公開して、親権者または未成年後見人が拒否できる機会を保障する。

4. 研究に参加した場合に予測される危険・不利益

研究協力は任意であり、研究に参加しなくてもそのために不利益は生じない。また、本調査はアンケート調査であるため特に対象者の身体に危険は生じないがアンケートの回答時間（10 分程度）を要する。

5. 倫理的配慮

アンケートは無記名自記式で行い、匿名性を保証する。

アンケートの回答内容は、本研究以外の目的では使用しない。また、研究の発表や論文作成に関しても、個人を特定できるような情報は一切公開しない。

回答いただいたアンケート用紙は、本研究期間中は榊原研究室の鍵のかかったロッカーに厳重に保管し、電子データ化したアンケートの回答内容は、第三者に情報が公開されないよう、パスワードをかけて USB メモリに保存する。研究終了時はすみやかに廃棄処分する。